

発表者	園木 誠
演 題	上顎前歯部のファンクショナルインプラメント
勤務先	そのき歯科医院
略 歴	平成 6 年鹿児島大学卒 平成 10 年 そのき歯科医院開設 所属：熊本 SJCD・日本審美歯科協会正会員・菊池 [®] リカラブ 日本歯周病学会・日本口腔インプラント学会 熊本県歯科医師会学術委員・菊池郡市歯科医師会理事
抄 録	 <p>抄録</p> <p>補綴治療を長期安定させるために重要なことは、顎頭の位置を中心位 (CR) に求め、咬頭嵌合位 (ICP) において全歯牙が、適切な接触点を有することにより咬合圧の分散を図ることである。また、偏心位において前歯群がそれぞれ適切なガイドを行うことにより、臼歯が離開することが理想とされている。</p> <p>しかしアングルⅡ級やⅢ級の症例では、上下顎歯の対合関係が悪く、それが実現できないことも多く、動的治療のゴールであるファイナルレストレーションをどのような咬合接触で行うのかといった問題に遭遇することが多い。</p> <p>今回、アングルⅡ級の症例で、上下顎歯の対合関係が悪い患者に対して、補綴前矯正を下顎歯列に行い上顎前歯部との対合関係を改善し、偏心位において前歯群がそれぞれ適切なガイドを与えることができ、患者の満足が得られた症例を発表する。</p> <p>Keywords : 下顎遠心咬合 (アングルⅡ級) Supra-sub gingival counter 歯肉のサポート</p>